

2026年4月15日

独立行政法人地域医療機能推進機構

中京病院

川崎重工業株式会社

中京病院にて屋内配送ロボット「FORRO（フォーロ）」の運用を開始 ～医療従事者の負担軽減による質の高い医療の持続的提供に向け、JCHOとして初導入～



東館(新館)～本館渡り廊下を走行する様子



ロボットから配送物を取り出している様子

独立行政法人地域医療機能推進機構 中京病院（愛知県名古屋市、以下 中京病院）と川崎重工業株式会社（以下 川崎重工）は、2026年3月30日より屋内配送ロボット「FORRO（フォーロ）」^{※1} 2台を導入し運用を開始しました。今回の導入は、全国57ヶ所^{※2}の病院からなる独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）として初めての屋内配送ロボット導入事例です。

中京病院では、内服薬や注射薬の配送に加え、院内のエアシューターを用いた搬送が難しい検体、医療機器などの配送を医療従事者が担ってきました。これらの配送業務を平日の日中時間帯だけでなく、夜間や休日も含めた24時間体制でロボットが担うことで、医療従事者の業務負担を軽減します。これにより、医療従事者が専門業務や患者さん一人ひとりと向き合う時間に、より多く注力できる環境を実現します。

「FORRO」は、広範囲をセンシングすることで、人や医療機器が行き交う複雑な院内環境でも、安全かつ安定した走行を実現しています。また、エレベータを利用した階移動にも対応しており、自律的にエレベータを利用し、人と相乗りすることも可能です。このようなFORROの特長により、時間帯を問わず安定した院内物流体制の構築や医療従事者の働き方改革に寄与します。

また、中京病院では、より快適で安心な医療環境を持続的に提供していく基盤作りとして、2026年1月に新棟を開設しており、「FORRO」もこのような環境作りを支えるため、従来からある本館と新館を結ぶ配送ルートにも対応しています。

今後も中京病院と川崎重工は、ロボット技術の活用を通じて、地域に根ざした持続可能な医療の実現に貢献してまいります。

※1 屋内配送用ロボット「FORRO（フォーロ）」

「FORRO」は、川崎重工が「ヒトは、ヒトにしかできないことを。」をコンセプトに、深刻化する労働力不足に対するこたえのひとつとして創出したサービスロボットです。医療従事者とともに働くパートナーであるとともに、患者様からも親しみを持って迎えられる外観を備えています。

(参考リンク) 川崎重工「FORRO」オフィシャル HP

<https://forro-service.com/>

(参考リンク) 川崎重工「FORRO」オフィシャルムービー

<https://www.youtube.com/watch?v=ziMds-eM4rU>

※2 2026年4月1日時点

<参考リンク>

- ・独立行政法人地域医療機能推進機構 中京病院

<https://chukyo.jcho.go.jp/>

- ・川崎重工業株式会社

<https://www.khi.co.jp/>

以 上